

医療現場：看護部

テーマ：患者に優しい病院内受診科の案内

■ 背景

大学病院など規模の大きな病院では、外来患者が検査や診療のために1日に複数の科を受診することは珍しいことではない。そのため患者さんの中には、次にどこへ行けばよいか分からなくなる人もいる。例えば、下記は周術期外来で来院されたAさん(92歳)のある日の予定である。



9:30～採血@6F糖尿病内科



10:00～栄養指導@2F栄養治療部



10:30～MRI測定@1F放射線科



12:00～薬処方@薬局 1F



11:30～診察@糖尿病内科6F



11:00～リハビリ@2Fリハビリ室

入院患者でも看護師が目的の科への送迎を行うことがあり、手間を取られることになる。

〈出典：看護roo!〉

■ 課題とアイデア例

- ・受診票にはその日の予定が記載されているが、病院は広く迷路のようになっていて受診先がわかりにくい。
- ・増築などにより複数の建屋がある場合、渡り廊下がない階がある。また高層用と低層用エレベータを間違えると目的科に辿り着けないことになる。
- ・受診先の案内アプリ開発は1つの手段だが、スマホを持たない高齢者が置き去りとなる。
- ・多くの病院では1Fに案内受付があることが多いが、他のフロアには必ずしも整備されていないことが多い。忙しそうに働いている医療スタッフには声をかけずらい人もいます。
- ・安価なリストバンドに案内機能が組み込めないか。

■ 市場性

300床以上の病院は全国に約1,300施設ある(令和4年度厚労省調査)。1日当りの受診者数のうち、80歳以上が占める割合は外来患者の27%、入院患者の37%と報告されている(令和2年度厚労省調査)。本学附属病院においても令和5年度の外来患者数は1,273人/日、入院患者数は497人/日であることより、困っている患者は潜在的には多く存在すると考えられる。

■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>